

## 止まり木



令和6年（2024年）

4月22日発行

第4号

大阪市立横堤中学校

## ルールを守って本当の自由を



今日の全校集会でお話しした内容に少し補足をして以下の紹介します。

みんなの住んでいる地域ではごみ（生ごみ・燃えるゴミ）はいつ、どこに捨てるか知っていますか？きっと毎週、何曜日と決まっているはずです。これを違う曜日にすてたらどうでしょうか。これは日本にたくさんある法律ではなく、ルールです。始業式の後、飯田先生から横堤中学校の校則についてお話がありました。今も言ったように日本には、色々なルールがあります。日本国民全員が守らなければならないルールには法律などがあります。法律を守らなければ、罰金やひどい場合は逮捕、拘束されることになります。学校の校則は法律ではなくルールです。他にも会社には社則という決まりがあります。また、家族で決めている「我が家家のルール」がある家庭も多いと思います。

まず世の中に法律がなかったら、どうなるか考えてみましょう。人を殺しても罰を受けなくて済むし、人のものを盗んでも、人をだましても、人を傷つけても罰せられることになってしまいます。もしそうなら、私たちは安心して生活することが出来なくなってしまいます。法律は、私たちを不自由にしたり、しばったりするためにあるのではなくて、私たちが安心して暮らすことが出来るようにと、作られてきたものです。一人ひとりが法律を守ることで、安心安全で平和な社会が作れます。安全が守られて始めて、私たちの自由も約束されることになります。**ルールに縛られず、好き勝手出来ることが決して自由ではない**のです。

他のルールも同じです。「学校の校則」や「我が家家のルール」は、みんなの安全を守るためにあるもので、同時に、みんながきちんと社会のルールを守って自立した大人になるための練習として作られたものだと思います。

ルールを守れば、自分の身も守れます。立ち入り禁止の危ない場所に入ってしまえば、危険な目に遭うかもしれません。事故に遭わないためには、交通ルールを守ることも大切なことです。

他にもルールはたくさんあります。私たちが色々なお店に行った時には、客としてのルールがありますし、電車やバスの中、公園、劇場など、公共の場にもルールがあります。このルールを破る人がいると、周りの人は大迷惑します。

ルールを守る人は、友達や家族など他の人に信頼されます。周りの人から信頼されれば、私たちの心もどんどん穏やかになっていきます。

学校の校則も、みんなの学校生活を守るため、みんなが楽しい学校生活を送ることが出来るようにするために制定されたものです。

校則を窮屈に感じることもあるかもしれません。しかし、みんなが学校を卒業して社会に出て働くようになった時、社会のルールは校則よりもずっと厳しいものだと感じると思います。社会のルールを守り、安全と自由を手にいれて、素敵な大人になって欲しいと、先生たちは考えています。そのために、中学生の今から、しっかりルールを守る練習をする、という意味も校則にはあるかもしれません。

そう考えると、校則とは、みんなの将来への期待を込めたものであり、みんなを応援するためのもの、と言えるのです。

保護者の皆さまへ

本日(22日)より26日まで家庭訪問となります。お忙しい中お時間を作っていただき、感謝いたします。ご家庭での様子や学校での様子を共有できるよう、有意義な家庭訪問になることを願っております。よろしくお願ひいたします。